

南日本新聞 掲載

令和2年9月23日（水）

多様な性知って
LGBTで講演
志布志中

志布志市の志布志中
学校で17日、LGBT
(性的少数者)への理
解を深めてもらう人権



講演会があった。LGBT
JAPAN事業
統括九州支部長の児島
希望さん(27)は薩摩川
内市が「多様な性を
知る」をテーマに話し、
「人の数だけ性の在り
方が存在している」と
訴えた。写真。

児島さんは女性の体
に生まれ、現在は男性
に戸籍を変え生活。ク
エスチョニング(性的
指向や性自認が定まっ
ていない人)を加えた
LGBTQについて説
明した。

カミングアウトする
人と接する際は
「相手を傷つけ
ない最低ライン
は守って」と呼
び掛け、当事者
に向けては「自
分自身が人生の
ロールモデル
(手本)と自覚
してほしい」と
話した。

(永野雄一)

今日はLGBTのことについて教えていただきました。私たち3年生は1学期に、ビデオを視聴しながらLGBTQ+の授業をしました。今日の講話を聞いて心に残ったことは、「セクシャリティーは個性の一つでありLGBTQの当事者が特別なことではない。」ということです。LGBTの人は10人に1人はいて、身近なことで一人一人の考えを否定せずに、尊重することが大切だなと思いました。自分の個性も大切にして、周りの人を思いやる気持ちを持って行動したいと思います。